

C F C 教科別シラバス

教科名：パソコン演習 スペシャリスト学科 1 単位（52.5 時間/週 1.5 時間）

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

コンピューターグラフィックスの基本原理を習得し、その技術を適切に利用できるようになることを目指し、Illustrator・Photoshop を使いこなすための機能を、実践を交えて進めていく。

使用テキスト

機能ごとのオリジナルプリント

使用ソフト

Illustrator C C ・Photoshop C C

カリキュラム・スケジュールの概略

———前期（PhotoShop）———

1. パス
2. 選択範囲
3. 着色設定
4. テキスト入力
5. 印刷方法

PhotoShop を使用してアパレル企業でのヴィジュアルマップを制作する。

———後期（Illustrator）———

1. パス
2. 線
3. 着色設定
4. テキスト入力

アパレル企業でのハンガーイラストを制作する。

C F C 教科別シラバス

教科名：パターンメイキング スペシャリスト学科 3単位 (105 時間/週 3 時間)

授業の解説 (担当はアパレル企業での実務経験者)

- ・学年の前半は新文化式原型を使用したパターンメイキングの「応用編」を実施。
- ・後半は文化原型から離れ、業界で多用されている「有り型を利用したパターンメイキング」を取り入れる。
- ・授業内容
 - ①デザインジャケット 2 型パターンメイキング (授業構成比 約 10%)
 - ②新文化原型を用いたパターンメイキング…「応用編」
 - コートのパターンメイキング (授業構成比 約 20%)
 - ⑤デザインディテールのバリエーション (授業構成比 約 30%)
 - ④伸縮素材のパターンメイキング (授業構成比 約 10%)
 - ③パンツ・スカートのパターンメイキング (授業構成比 約 10%)
 - ④有り型利用のパターンメイキング (授業構成比 約 20%)

評価基準

出席率、授業態度、提出課題、定期試験により総合的に評価する。

使用テキスト

- ・すべてオリジナルテキスト (プリント)
- ・参考文献『スカート・パンツ』
 - 『コート・ケープ』 文化ファッション大系 文化服装学院編
 - 『スーツ・ベスト』

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ① デザインジャケット
 - コートのパターンメイキング
 - ①文化原型から「ジャケット原型」、ジャケット原型から「コート原型」の作成。
 - ② 「コート原型」からストレートシルエットコートのパターンメイキング
 - ③ A ラインシルエットラグランコート
- 伸縮素材のパターン
- 袖のバリエーション
 - 横ギャザー・袖ダーツ・レグオブマトン
 - マチスリーブ 4 種

——後期——

- パンツ・スカートのデザイン表現
 - ① 内タック ②外タック ③インバーテッドタック ④ドレープパンツ
- ボックスシルエット P コート

C F C 教科別シラバス

教科名：ファッションデザイン画 スペシャリスト学科 3単位（105時間/週 3時間）

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

- ・アパレルにおける服飾デザイン画に必要な速く、正確に、美しく流行を取り入れたデザイン画の描き方。
- ・時代を先取りするオリジナルデザインの描き方の養成。
- ・商品企画に直結するテーマに合わせたデザイン画の描き方。

評価基準

- ・目的に合ったデザイン画が、正確に美しく、決められた時間内で仕上げられるかどうか。
 - ・オリジナルデザイン画を自分の画風でうまく表現されているかどうか。
 - ・出席率、授業態度
- 以上を総合的に判断する。

使用テキスト

『ファッションデザイン画』文化ファッション大系 文化服装学院編
その他関連するプリント配布

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ・就職対策（デザイン画速描き…時間、テーマ設定）
- ・外部コンテスト対策（創作デザイン…いろいろな角度からテーマを設定）

——後期——

- ・外部コンテスト対策（創作デザイン）
- ・テーマによるデザイン画（メンズ、チルドレン、レディス等のコーディネートデザイン画）
- ・コレクションラインの写真スケッチ

課題 No.1～ No.16

教科名：ファッションデザイン画 スペシャリスト学科 3単位（105時間/週 3時間）

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

- ・1.2年生での基礎をふまえ、より各自の個性を生かしたデザイン画を描けることを目標とする。
- ・仕事へ向けて、正確に解り易い着装デザイン画ハンガーイラストを練習する。

評価基準

- ・出席率、授業態度、テーマ毎の課題の完成度により総合的に判断する。

使用テキスト

『ファッションデザイン画』文化ファッション大系 文化服装学院編
その他関連するプリント配布

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・規定のコンテスト応募
- ・コンテストデザイン画の効果的な描き方研究
- ・ハンガーイラスト
- ・就職対策
- ・着装デザイン画とハンガーイラストを並列して描く
- ・テーマに沿ってデザイン展開

提出課題 No.1～ No.10

C F C 教科別シラバス

教科名: ファッションビジネス論 スペシャリスト学科 3 単位 (52.5 時間/週 1.5 時間)

授業の解説 (担当はアパレル企業での実務経験者)

ファッション業界の現状と変化を的確にとらえ、今後の業界の変化に対応するための知識を習得させる。

評価基準

出席率・授業態度・定期試験により総合的に評価する。

参考文献

『ファッション販売』(株)商業界

『織研新聞』

『ファッション週刊誌 WWD ジャパン』

カリキュラム・スケジュールの概略

——前期——

- ・小売業の機能と種類
- ・アパレルの機能と種類
- ・現在の業界の状況

ファッション業界のアウトライン

ブランド・商業施設のポジショニング

インバウンドについて

商社について

- ・業界用語

——後期——

- ・現在の業界の現状

世界のアパレル

C S R (企業の社会的責任) について

E C マーケットについて

サステイナブルについて

- ・F B のパラダイムシフト
- ・品質管理について
- ・P L 法について

C F C 教科別シラバス

教科名：マーチャンダイジング スペシャリスト学科 1 単位（52.5 時間/週 1.5 時間）

授業の解説（担当者はアパレル企業での実務経験者）

現在の市場をリードする消費者の世代に焦点を当て、その年代を調査、マーケットリサーチをした上で、オリジナル商品を企画立案し、MD 計数の提案を企画書からプレゼンテーションするまでの一貫した流れの中で習得・理解させる。

- ・今年度はアラフォー世代
- ・イラストレーター、フォトショップを実践を交えてスキルアップする。

評価基準

出席率・授業態度・課題提出物・プレゼンテーション能力により総合的に評価する。

使用テキスト

『アパレルマーチャンダイジング』ファッション教育社
『WWD JAPAN』(株)インファスパブリケーションズ

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・対象世代の分析
- ・対象世代の SHOPPING マーケットリサーチ
- ・ブランドイメージ企画
- ・ターゲットイメージ企画
- ・年間売上を想定して計数企画
- ・シーズン企画
- ・アイテム展開企画
- ・プレゼンテーション
- ・年間コーディネートプラン
- ・トレンド分析

教科名：マーチャンドアイジング スペシャリスト学科 1 単位（52.5 時間/週 1.5 時間）

授業の解説（担当者はアパレル企業での実務経験者）

現在の市場をリードする消費者の世代に焦点を当て、その年代を調査、マーケットリサーチをした上で、オリジナル商品を企画立案し、MD 計数の提案を企画書からプレゼンテーションするまでの一貫した流れの中で習得・理解させる。

- ・今年度はアラフォー世代
- ・イラストレーター、フォトショップを実践を交えてスキルアップする。

評価基準

出席率・授業態度・課題提出物・プレゼンテーション能力により総合的に評価する。

使用テキスト

『アパレルマーチャンドアイジング』ファッション教育社
『WWD JAPAN』(株)インファスパブリケーションズ

カリキュラム・スケジュールの概略

- ・対象世代の分析
- ・対象世代のショップ マーケットリサーチ
- ・ブランドイメージ企画
- ・ターゲットイメージ企画
- ・年間売上を想定して計数企画
- ・シーズン企画
- ・アイテム展開企画
- ・プレゼンテーション
- ・トレンド分析

C F C 教科別シラバス

教科名：構成講義 スペシャリスト学科 1 単位（35.0 時間/週 1.0 時間）
授業の解説（担当者はアパレル企業での実務経験者） ・ 特殊素材の知識と扱い方について講義する。 ・ 縫製テクニックをデモンストレーションし、高度なテクニックを理解させる。 ・ 理解度を測るため部分縫いを製作してもらう。
評価基準 出席率、授業態度、課題提出物、定期試験により総合的に評価する。
使用テキスト 『服飾造形応用編Ⅰ（高級素材）』 『服飾造形応用編Ⅱ（特殊素材）』 その他プリント 文化ファッション大系 文化服装学院編
カリキュラム・スケジュールの概略 ——前期—— ポケット（シーム・箱） プリーツスカート（ファスナー明き、プリーツ計算法） 薄物（シフォンジョーゼットとオーガンジーの縫い代始末の種類） 伸縮素材 トリミング レース（ケミカルレースの扱い方） ハイライズパンツ くせとり ——後期—— ベルベット（起毛素材の扱い方） 皮革 毛皮 リバーシブル

C F C 教科別シラバス

教科名：構成講義実習Ⅱ スペシャリスト学科 6単位（選択 210 時間/週 6 時間）
授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者） 各アイテムに合わせ、デザイン→素材選び→パターンメイキング→カッティング→縫製のより高度な知識と技術の習得を計る。 実習物を通して、より美しいシルエットでバランスのいい美的構成力を磨かせる。
評価基準 出席率、授業態度、課題提出物の完成度、プレゼンテーションにより総合的に評価する。
使用テキスト 『スーツ・ベスト』 『スカート・パンツ』 『コート・ケープ』 『ブラウス・ワンピース』 『服飾造形応用編Ⅰ（高級素材）』 『服飾造形応用編Ⅱ（特殊素材）』 文化ファッション大系 文化服装学院編
カリキュラム・スケジュールの概略 ——前期—— ・ラグランコート 半裏仕立て…デザイン、素材などに合わせてプライスを考慮しての縫製 ・薄物素材ワンピース 裏付き使用を考えたデザインワンピース ・カットソー&布帛 ニットと布帛を組み合わせた縫製仕様 ・デザインパンツ・スカート コレクション作品や市販されている商品で仕様が複雑なデザインを選び作成 ——後期—— ・卒業研究作品 ・C F C ファッションコンテスト作品

C F C 教科別シラバス

教科名：構成実習 スペシャリスト学科 7 単位（227.5 時間/週 6.5 時間）
<u>授業の解説</u>（担当はアパレル企業での実務経験者） 各アイテムに合わせ、デザイン→素材選び→パターンメイキング→カッティング→縫製のより高度な知識と技術の習得を計る。 実習物を通して、より美しいシルエットでバランスのいい美的構成力を磨かせる。
<u>評価基準</u> 出席率、授業態度、課題提出物の完成度、プレゼンテーションにより総合的に評価する。
<u>使用テキスト</u> 『スーツ・ベスト』 『スカート・パンツ』 『コート・ケープ』 『ブラウス・ワンピース』 『服飾造形応用編Ⅰ（高級素材）』 『服飾造形応用編Ⅱ（特殊素材）』 } 文化ファッション大系 文化服装学院編
<u>カリキュラム・スケジュールの概略</u> ——前期—— ・ラグランシャツワンピース 略比翼・シームポケットを規定とし、ラグランの縫い方など学ぶ ・オリジナル作品 様々な素材に合わせたパターンから作品へ落とし込む ・カットソー&布帛 ニット独特の持ち味を生かした縫製仕様と布帛を組み合わせた縫製 ・デザインパンツ オリジナルなデザインの裏付き前ファスナー仕様 ——後期—— ・卒業研究作品 ・C F C ファッションコンテスト作品

C F C 教科別シラバス

教科名：素材論 スペシャリスト学科（後期） 3 単位（52.5 時間/週 1.5 時間）

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ゲームンにおける素材の差別化が重要になりつつある現在、2 年間の基礎編の上に立って現場に活かせる応用編を半年間行う。

講義授業で可能な方法で、現在の学生の弱点である素材とシルエット、デザインとの関係を大きな習得課題とする。

また、トレンドと素材との関係、業界の現状と素材の手配について、内定先や内定職種との関係で理解し、卒業後に広い視野で判断ができる能力を身につけさせる。

評価基準

定期テスト、出席率、授業態度、により総合的に評価する。

使用テキスト

織研新聞、WWD 他業界関連発行物

世界イベント（PV・MU）や世界トレンド情報会社の HP を PC で紹介

その他プリント、多数の素材サンプル、ハンガー、製品サンプルを使用

カリキュラム・スケジュールの概略

1. 2 年間の復習
2. 素材トレンドとデザインの関係
3. 素材産地と物づくりの関係、産地の現状
4. 海外生産の現状
5. ファッショントレンドと素材トレンドと店頭の関係
6. 繊維業界の課題 SDGs/2,030 年問題/素材開発の現状と新素材の紹介

C F C 教科別シラバス

教科名：創作デザイン スペシャリスト学科 6 単位（選択 210 時間/週 6 時間）

授業の解説（担当はアパレル企業での実務経験者）

ファッションデザインの発想と表現方法などに関する知識と技術を習得する。

評価基準

出席率、授業態度、提出課題、試験により総合的に評価する。

使用テキスト

参考文献：FASHION DESIGN BASICS

FASHION DESIGN RESOURCE

カリキュラム・スケジュールの概略

テーマ：アート

テキスタイル

民族衣装

自由

・デザイン発想試験

テーマ：自由

イメージマップ・コラージュマップ・デザイン画・ハンガーイラスト

C F C 教科別シラバス

教科名：卒業研究 スペシャリスト学科 3 単位（105 時間/週 3 時間）
<u>授業の解説</u> 自ら選んだテーマを研究し、オリジナルデザインにまとめた 2 体の作品を製作する。 ・各自で決めたテーマの情報を収集する。 ・収集した情報（資料）を整理・分析する。 ・分析結果から新しい結論（オリジナルの理論）を導き出す。 ・結論に基づき卒業研究作品を 2 体製作する。
<u>評価基準</u> テーマに基づき調べた内容に対し、自分なりに考え新しい答えを導き出し、如何に完結できているか。製作作品を最終プレゼンテーションにて発表。ファイルと総合的に評価する。
<u>使用テキスト</u> ・ C F C 独自のフォーマット ・図書館、インターネット情報、他
<u>カリキュラム・スケジュールの概略</u> ◎テーマ決定（各自研究&製作したいもの） ・表紙 ・コンテンツ ・はじめに —各自が何故“テーマ”を決めたのか、興味を持った発端を表現する— ・研究内容・デザインへのプロセス ・卒業製作のデザイン画 2 点 ・1/2 縫い代つきパターン ・素材（表布・裏布・芯・糸・テープ・ブレード・e t s）添付 ・マーキング ・ソーイングテクニック ・終りに —自分なりの研究がどれ位納得できて、完結したかなど— ・裏表紙 参考文献・出版社名・著者名 ◎ 作品製作 1 体 ◎ デジタルコンテンツ（パワーポイントを使用して製作した映像） ・単にファイルを取り込むのではなく、効率よくインパクトのあるプレゼンになるように映像を作る。 ◎ プレゼンテーション ・調べた内容に対する自分なりの考えを、時間内に自らの言葉で発表する。

C F C 教科別シラバス

教科名：立体裁断 スペシャリスト学科 1 単位（52.5 時間/週 1.5 時間）
<u>授業の解説</u>（担当はアパレル企業での実務経験者） 1～2 年の題材を基盤とし、各種アイテム、ディテールを既製品サンプルを参考にシルエットの構造・仕様を考慮して、立体からファーストパターンを指導する。
<u>評価基準</u> ・デザイン画やサンプルに対しシルエット、ディテール、ゆるみを的確にとらえ表現できているか。 ・地の目、ピンの扱いが適正であるか。 ・出席日数、授業態度 以上を総合的に評価する。
<u>参考文献</u> 『立体裁断 基礎編』文化ファッション大系 文化服装学院編 『パターンメイキングの原理』大野順之助著
<u>カリキュラム・スケジュールの概略</u> ・デザインスカート（ex. ハイウエスト切り替えのフレアースカート） ・ジャケット（PM2 級参考デザインより 1 型） ・デザインワンピース（ex. ドレープ、ウエスト切替タック） ・コレクションより 1 型 ・オリジナルデザイン（ワンピース、スーツ以上） ・学年末単位認定試験 ・実習物のラグランスリーブ作品 ・ジャケット（PM2 級参考デザインより 1 型） - PM の授業で習得した 4 面テーラード JK ・ドロップショルダーブラウス ・基本ワンピース ・袖のバリエーション } 3D